

人むすびの場

第37回テーマ

“都市型農業の新しいカタチ”

～都心から1時間、農家民宿第1号の可能性～

日時	平成23年8月24日(水) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすひ(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- 「人むすびの場」は、ご参加の皆さん全員が「場づくり人」として、思いと知恵を分かちあう「対話と創発の場」です。
- 他者との対話を通じて見えてくる自分自身の思いへの気づき、次なるステップへのヒント、自然と生まれるつながりの発展の機会としていただけたらと思っています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも、世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- 今の自分の一歩が、世の中がよくなることにつながる。そんな互いの思いを分かち合うことから、「和・環」となって、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供など、もろもろご意見をお待ちします。



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ
「都市型農業の新しいカタチ
～都心から1時間、農家民宿第1号の可能性」
峯岸祐高(みねぎし ゆたか)さん
(COROT(コロット)代表)
- 19:50 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
21:00 終了
交流会(ピアンタ)



「都市型農業の新しいカタチ」

～都心から1時間、農家民宿第1号の可能性～

ゲスト 峯岸祐高(みねぎし ゆたか)さん
(COROT(コロット)代表)

◆3・4年、生活提案型企业に勤務してから農業の接点を持ちました。

◆「Corot」は、里山の暮らしを体験できる、体験を売るサービスです。祖父母がもっていた古民家を活用しています。都市型農業については、3つの課題があると思います。

- ① 農園が減っている ⇒ 人口増加が起こり、急激な宅地開発が起こった
- ② 後継者がいない ⇒ 首都圏に会社が多く、農業を継がなくても仕事がある
- ③ 畑の規模は小さい ⇒ 宅地開発により、規模の経済が当てはまらない

◆しかし、首都圏をビジネスの観点から考えると大きなチャンスがあります。

- ① 商圏人口が多い ～国土の1/3の人口があり、直接お客様にアピールするチャンス
- ② 他業種とのコラボレーションが容易 ⇒ 新しいモデルを構築するチャンス
- ③ 地域のお客様が食や健康への興味を強く持っている ⇒ 地域の方々に受け入れられるチャンス

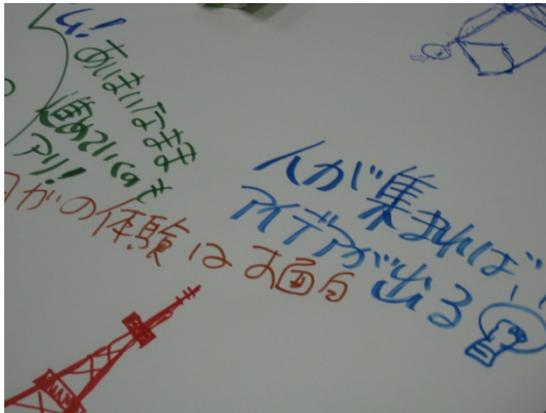
◆「農業の面白さは、栽培だけではない！ 農家の暮らしにこそある！」という思いで、「古民家付き貸し農園Corot」では、自分で野菜を植えられるだけでなく、その場で自産自消し、モノを売る従来の農業からコトを売る農業(体験型農業)へ6次産業化、農の生活を通じて「場づくり」しています。

◆「Corot」は、「古民家体験」「カルチャースクール」「イベント」「貸農園」「農業体験」を提供しており、首都圏には、「農業体験」をしたいというニーズがあります。若者には農業に触れる機会がないのです。

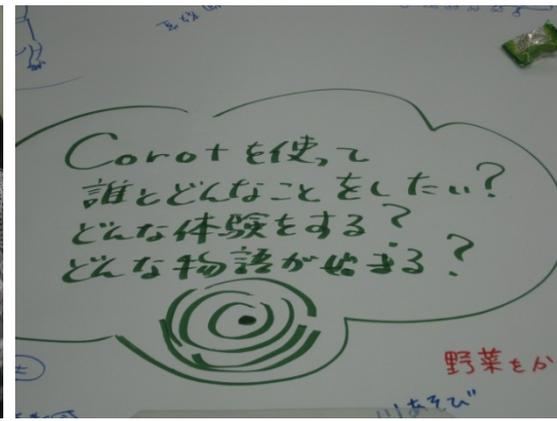
◆現在、テレビ、新聞、雑誌でも取り上げられ、月200人のお客さんがお越しになります。

今も農薬不使用で正しいことを農業・環境面でやっいていこうとしていますが、今後もメリットにフォーカスして多くのお客様に喜んでいただける農園にしたいと思っています。



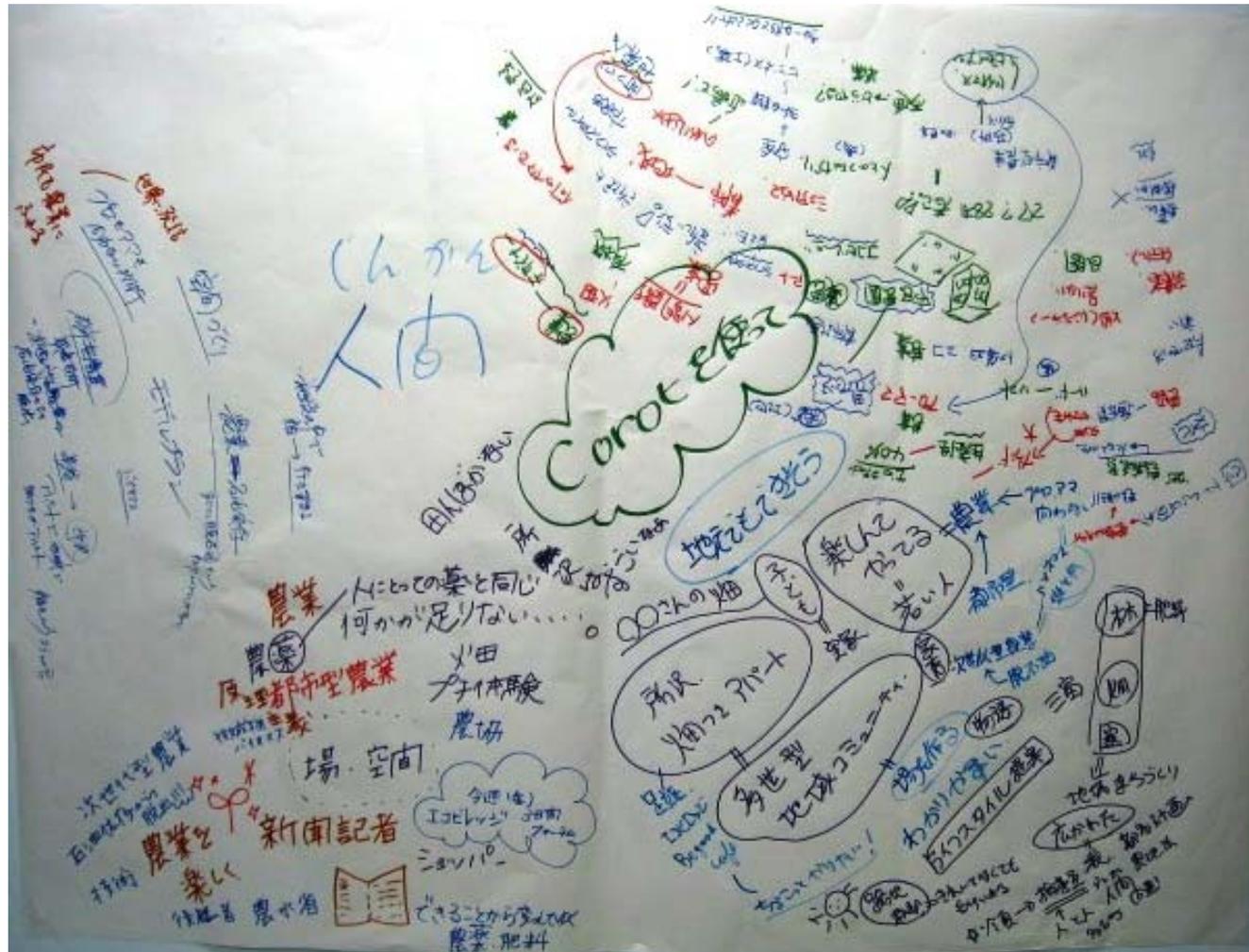


人むすびカフェ



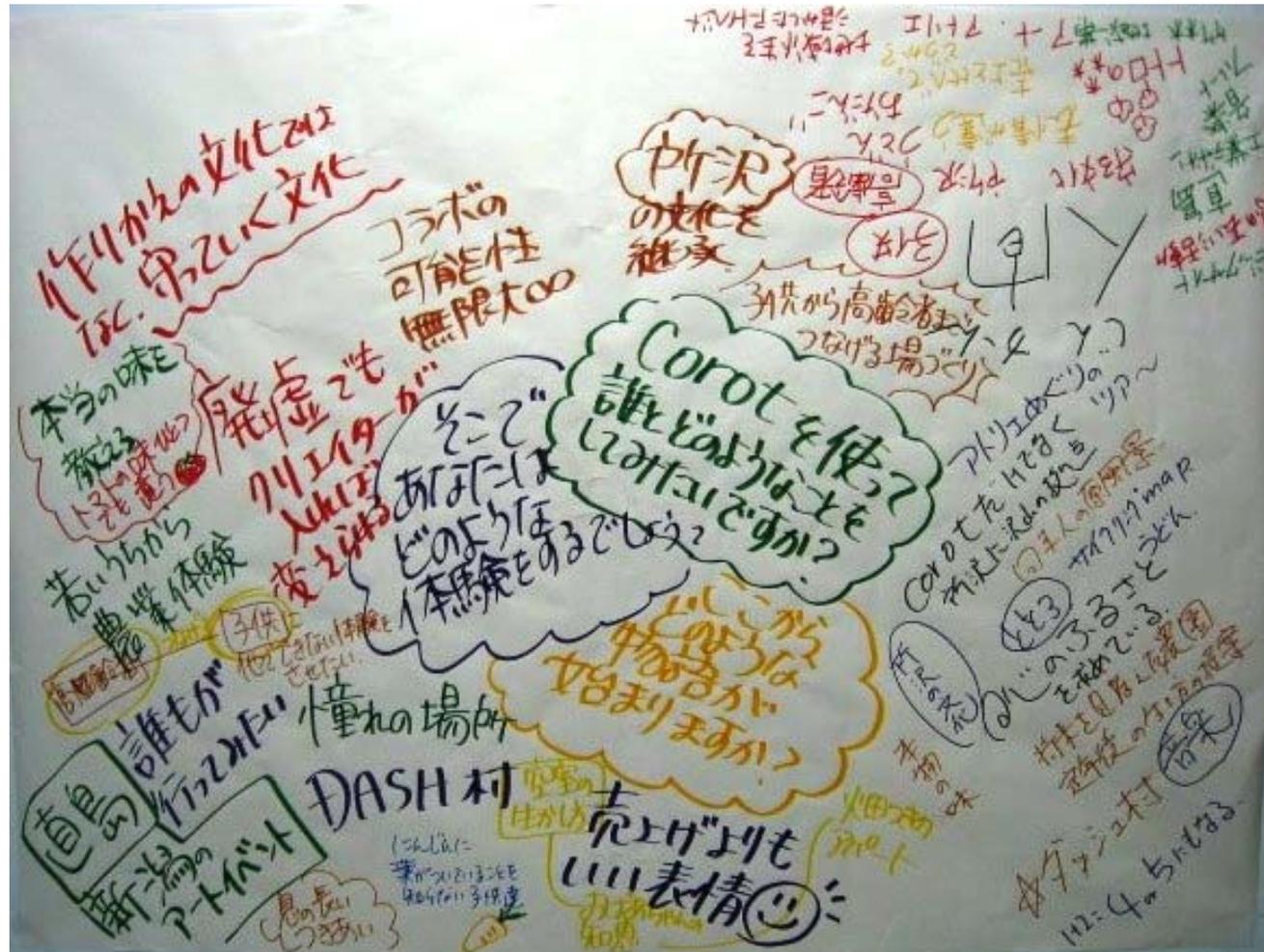
人むすびカフェ

「Corot を使って誰とどんなことをしてみたいですか？
そこであなたはどんな体験をするでしょう？
ここからどのような物語が始まりそうですか？」



人むすびカフェ

「Corot を使って誰とどんなことをしてみたいですか？
そこであなたはどんな体験をするでしょう？
ここからどのような物語が始まりそうですか？」



本日の感想①

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・(食と)農に関わる多彩な事業の可能性に気づかされた。
- ・農業は楽しんでやる。物を売るのではなく、コト・スタイルを売る。
- ・人はそれぞれだしつながっている。
- ・色々な人がいるな！！
- ・ありすぎて書ききれない・・・
- ・人が集まれば本当にいろいろなアイデアが出ると思いました。“農”は様々なこととコラボレーションが可能ですね・・・
- ・間違いなく面白いことが出来ると思います。
- ・農業を発展するために求められているのが、政策や行政の支援だということ。
(具体的にうまく言えないのですが)世代による考え方の違いがあるように思った。
- ・グリーン・(古民家)再生・若者・人間関係と幅広いテーマなので時間が足りなかった。
- ・都心に近いところでは、農業の農家生活を求めている人がたくさんいることがわかった。
- ・農業への希望の方が多いこと
- ・自分の分野で異なる分野を見る新鮮さ
- ・農業に新しいスタイルを取り入れ、継承、保存していくことが環境づくり、人材づくりになっているのではないのでしょうか。
- ・テーブルを移るごとに話題が拡がり、とうとう所沢市をcorotでいっぱいにしてしようというアイデアが生まれたのが興味深かった。
- ・ふしぎなほど楽しい自由な話し合いができました。
- ・新しいビジネスモデルでの地域おこしの魅力
- ・農業が人をつなぐ
- ・場としていろんなことに可能性があるんだな、と思いました。人によって千差万別なことがおもしろかったです。
- ・所沢はすごい。

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・古民家を利用した結婚式。引出物に野菜を配る。
- ・農業産業の時代 石油に頼らない農業をつくる
- ・予定はありませんが、結婚式をコロットで挙げたい。
- ・おとな大学 グッドデザイン！！
- ・みなさん熱心でびっくりしました。
- ・作り変える文化ではなく、残していく(伝えていく)文化
- ・行政の支援がほしいということ
- ・原発・農業・エコライフスタイル
- ・結婚式をコロットでやってみたら
- ・農家民宿
- ・ゲームと農業
- ・土～あたたかさ、ぬくもり、いやし、懐かしさ、土があることはいいこと。
- ・結婚式でそれぞれの両家の土地の料理を出し合う。引出物が野菜。
- ・子供への参加 実感という思いをもたせたい
- ・つなげて、新しい価値を創造
- ・人間、次世代農業
- ・場の力
- ・町の歴史が今をつくっている

本日の感想③

*** その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。**

- ・自分の関心領域(生産技術)が十分展開できなかった。
- ・コロットで結婚式をやろうという提案。是非実現しましょう。
- ・予定はありませんが、結婚式をコロットで挙げたい。
- ・楽しかった！！
- ・とにかく勉強になりました。
- ・非常に楽しかったです。是非Corotに泊ってみたいです。
- ・話題が国や地域のシステムなど大きな問題への意見だったのがやや残念。
もっと「民家で誰とどんなことをしたいか」という話を聞きたかった。
- ・最後の30分しか参加できなくてすみませんでした。
- ・今日は人数も多かったこともあり、一人ずつ話をする時間に、テーマに即した話をする時間が足りなかった。
- ・新しい場づくり
- ・参加時間が短かったことです・・・すみません
- ・クリエイターのとび入り参加、徐々に参加者が増え、活気づきうれしくなりました。
こんなに関心が高くてびっくりしました。
- ・あっという間の80分でした。
- ・時間がもっとほしいですが、ワールドカフェはうまく行ったと思います。
- ・時間が短い。
- ・農業についてたのしく、あかるく話せてよかったです。

皆さん、ご一緒に場をつくってくださってありがとうございました。